

2013 11月のビオトープ

～いこいの池も冬仕度～

11月18日（火）たくさんのお客様を迎え、ISSの認証式がおこなわれました。ビオトープの回りもきれいに整えられていました。日々の忙しさになかなかビオトープを見て回れていないという反省がありました。

しかし、水は綺麗に流れ、太陽の光が池の底にとどくようになりました。水生植物は、冬仕度を迎えたようです。

草木は枯れて、背の低い植物は、池の底でその葉を伸ばすようになっていきます。

これから春までの間、水底でその根を伸ばしていくことでしょう。

ザリガニの被害にあった、アサザ、トチカガミがどうか根っこで残っていて欲しいと願うばかりです。



ガマの葉が枯れて金色になりました。ガマの穂は、その丸い頭をカラカラにして、綿毛とともに飛び立つ準備に入っています。

植物の生命力を感じます。再生された時、愛甲小学校からいただいたほんの少しだったガマは、

間引きしないとイケないくらいに増えました。となりの妻田小学校に株分けしました。この冬に手入れをして増えすぎた植物の調整をしなければと思っています。